

すこやかちゃん



たける 尊くん(平成18年10月6日生)
 両親＝菱木吉範・真奈美さん〔三川〕
 「パパが大好き!!お風呂楽しみにしてるんだ。
 今日も一緒に入ろうね」



さとる 聖琉くん・せりな 聖莉奈ちゃん
 (平成15年1月16日生・平成19年3月11日生)
 両親＝伊藤浩夫・智穂さん〔口〕
 「2人で仲よく、テヘ♡」



しのぶ 忍くん(平成20年3月11日生)
 両親＝塙 宏一・喜美江さん〔二〕
 「お歌が大好きな忍くん。
 いつもニコニコさんで元気いっぱい!!」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
 対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



農村を救った紐のサムライ 大原幽学

10 最期のことば

この連載も最終回。最後は、幽学の最後のメッセージを紹介します。

画期的な農村指導により村の復興をもたらした幽学でしたが、その成功をねたむものが現れ、その結果幕府から嫌疑を受け、裁判にかけられてしまいます。関係者に迷惑がおよぶことをおそれた幽学は、わざと門人たちを破門にし、なんとかこの事態を乗り切ろうとします。

しかし、幕末の動乱期のこと、江戸での度重なる尋問、長引く裁判、かさむ費用に苦しめられます。六年もの審理の末、有罪判決が下ります。身分の定かでないものが、農民を扇動し、勝手な学問を説いたことがその理由です。先祖株組合も解散させられ、幽学自身も江戸で百日間の謹慎という実刑判決を受けました。刑をつとめ、村に帰った幽学は、ごく近い門人に最後の講話をし、その晩の未明、村の共同墓地に入り自らの命を絶ちました。六十二歳の

◀自刃に使われた短刀。常設展示で公開しています。



ことでした。遺書には、これまでの人生の回顧と、世話になった人々への感謝と詫言が書かれています。

使われた短刀に刻まれた文字は「難釜夏義也(捨てがたきは義なり)」。自分の身を捨てても、正しい道は捨てることのできない。それが最期のことばとなりました。これからも、その道が語り継がれていくことでしょう。

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

暮らしのカレンダー

- 3日(金) 旭中央病院附属看護専門学校卒業式
- 6日(金) 東総工業高校卒業式
- 7日(土) 旭農業高校卒業式
- 13日(金) 一中・海上中・飯岡中・干潟中卒業式
- 14日(土) 二中卒業式
- 16日(月) 市県民税、所得税の申告受付締切
- 18日(水) 干潟・富浦小卒業式
- 19日(木) 市内小学校卒業式(干潟・富浦小を除く)
- 20日(金) 春分の日
- 熊野神社の神楽
- 27日(金) 鎌数伊勢大神宮の神楽(～28日(土))
- 29日(日) 千葉県知事選挙投票日(予定)

古紙配合100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

市内局番「60番台→50番台」「50番台→60番台」へかけるときは「0479」が必要です。

編集後記

今回紹介した高校生ライターの富沢祥也さん。会ってみると、あどけない笑顔からは想像できない、しっかりとした考えを持った好青年でした。最近、スポーツ界を中心に、彼のような十代の若い選手が活躍しています。テレビを見ていると、暗いニュースばかりの世の中ですが、若い選手たちの活躍を見ると、とても心が和みます。若き彼らの頑張る姿は、厳しい不況の中で沈みがちな大人たちの心に、やわらかい春の風を運んでくれているように思います。(ま)